

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りぶる		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 31日 ～ 2025年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	2025年 1月 31日 ～ 2025年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 11人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫している	「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域に基づいた総合的な支援をおこない、「ねらい」を持ってその子どもに応じた活動の立案をおこなっている。また、活動が固定化されないよう複数の活動を考えたうえで選択してもらうなどの工夫をしている	職員同士での情報交換をしっかりと行ない、保護者への聞き取りも強化させた上で、子どもが楽しいと思えるような活動を企画していく
2	併設している生活介護とイベントを通しての交流を図ることができる	緑日や流しそうめん、野球大会や餅つき大会などのイベントを企画し、年代を超えた交流を持つことを意識的に行なっている	恒例となったイベントは今後も続けていき、日常から交流する機会を増やしていく
3	重度の行動障害に対応できる人員配置をおこなっている	職員の大半が行動支援従業者養成研修または強度行動障害支援者養成研修を履修している。	今後も職員に研修を受けさせる機会を確保し、必要な知識を持って支援していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のこどもと活動する機会を持っていない	当法人の生活介護や他の放デイさんと合同で活動することはありますが、地域との交流のきっかけやその時間を確保することが難しい	地域と交流する機会を増やすよう検討していこうと思います
2	保護者会の開催、保護者同士の交流の機会を設けることができていない	定期的に開催する時間の確保が難しい	保護者会の開催、保護者同士の交流の機会を設けることができるよう検討していこうと思います
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が充分でない	現状は年に1度の火災想定避難訓練しかできておらず、様々な災害に備えた訓練の時間を確保することが難しい	他の災害等も含め検討し、時間の確保に努めていきます